音 楽

(器楽合奏)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
17	教育出版	教 出◆	音楽 017-72	A B 変型 106	令和 6 年
27	教育芸術社	教 芸◆	音楽 027-72	A B 変型 106	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立白鷗高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「開拓精神」の伝統のもと、教科横断的な探究型学習を推進して生徒の幅広い知的好奇心に応ずる。また、日本の伝統文化理解教育と国際理解教育を推進して自己のアイデンティティ確立とダイバーシティ（多様性）尊重の精神を養い、「競争」と「協働」ができる創造的なグローバル人材を育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

我が国や郷土の伝統音楽の楽器の一つである三味線に慣れ親しみ、我が国や郷土の伝統音楽についての学習を深める。また、芸術鑑賞会や、地域の人材の活用を通して伝統芸能に親しむことにより、日本の伝統文化理解を深めていく。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	台東地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 都立白鷗高等学校・附属中学校の教育内容の充実に係る検討委員会報告書第3章 令和5年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、我が国や郷土の伝統音楽についての学習を深めるため、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	13	22	11	4	6	66	48
教芸	11	14	16	9	7	6	63	25
平均値	10.5	13.5	19.0	10.0	5.5	6.0	64.5	36.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入する。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立小石川中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

生徒が広い視野と豊かな教養を身に付けることを目指し、小石川教養主義に基づき全ての教科・科目を偏りなく学ぶとともに、これを土台とした理数教育、国際理解教育、6年間を貫く探究活動、専門家による特別講演などの特色ある教育活動を通じて、自ら志を立て、自分が進む道を切り拓き、新しい文化を創り出すグローバルリーダーを育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

幅広い活動を通して、感性を豊かにし、音楽活動の基礎的能力を伸ばし豊かな情操を養う。教材は発達段階にふさわしいものを精選し、歌唱、器楽、鑑賞をバランスよく行う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	文京地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 我が国や郷土の伝統音楽を積極的に取り上げた学習を推進し、国際社会に生きる日本人としてのアイデンティティを育むために、日本文化への理解を深める内容に関わる和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 我が国や郷土の伝統音楽を積極的に取り上げた学習を推進し、国際社会に生きる日本人としてのアイデンティティを育むために、日本文化への理解を深める内容に関わる我が国の音楽についての楽譜を扱っている箇所数を調査する。

発行者 項目	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	13	22	11	4	6	66	48
教芸	11	14	16	9	7	6	63	25
平均値	10.5	13.5	19.0	10.0	5.5	6.0	64.5	36.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入する。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立両国高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「自律自修」の精神に基づき、真理と正義を愛し、広く深い教養を身に付け、心身ともに健康で明朗な生徒を育成する。中高一貫教育校として、6年間の指導計画や探究活動を通じて、高い学力を身に付けさせるとともに、豊かな言語能力と望ましい職業観、高い志と世界的視野をもった人間性豊かな生徒を育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

中学校では、豊かな情操を養うため、幅広い音楽活動を通して、音楽の創造的な表現力と鑑賞能力の基礎を身に付けさせる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	墨田地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、日本人としてのアイデンティティを育むために、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、日本人としてのアイデンティティを育むために、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

発行者 項目	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	13	22	11	4	6	66	48
教芸	11	14	16	9	7	6	63	25
平均値	10.5	13.5	19.0	10.0	5.5	6.0	64.5	36.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入する。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立桜修館中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「6年間の一貫した教育活動の中で、世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する学校」を目指し、研究論文の作成、6年間の系統的な進路指導、国際交流事業といった教育活動を通じて、真理の探究を極め、困難な課題に主体的に取り組み、粘り強く解決できる生徒を育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、我が国及び世界の古今にわたる様々な音楽に対する興味・関心を養うとともに、基礎的な音楽表現の技能を身に付ける。
- (2) 音楽を楽しむことによって豊かな情操を養い、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	中等教育学校基本計画検討委員会報告書 中高一貫教育校整備に関する検討委員会報告書 目黒地区中等教育学校特色ある教育活動について 目黒地区中等教育学校教育課程第1章 令和5年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育むために、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育むために、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

発行者 項目	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	13	22	11	4	6	66	48
教芸	11	14	16	9	7	6	63	25
平均値	10.5	13.5	19.0	10.0	5.5	6.0	64.5	36.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入する。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立立川国際中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する」という教育目標を実現するために、Road to Global Citizen—Think Globally, Act Locally—を掲げ、特色あるプログラムを通じて日常から養える国際感覚と多様性をもつ生徒を育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

身近な日本及び世界の楽曲を通して音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽に親しみ愛好する心を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	立川地区中高一貫6年制学校 (国際中等教育学校)基本計画 検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽に親しみ愛好する心を育てるために必要な、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽に親しみ愛好する心を育てるために必要な、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	13	22	11	4	6	66	48
教芸	11	14	16	9	7	6	63	25
平均値	10.5	13.5	19.0	10.0	5.5	6.0	64.5	36.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入する。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立武蔵高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「向上進取の精神」のもと、地球規模の課題を「自分ごと化」していく武蔵独自の探究活動である「地球学」を軸とし、中高6年間の一貫性を持った体系的なキャリア教育を通して、豊かな知性と感性を育て、健康な心と体を養い、一人一人の高い進路目標を確立し、実現することで、「国際社会に貢献する知性豊かなリーダー」を育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

音楽を愛好する心情を育てるとともに豊かな感性、自己表現力、協調性そしてコミュニケーション能力を養う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	武蔵野地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 令和5年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽を愛好する心情を育てるために、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽を愛好する心情を育てるために、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

発行者 項目	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	13	22	11	4	6	66	48
教芸	11	14	16	9	7	6	63	25
平均値	10.5	13.5	19.0	10.0	5.5	6.0	64.5	36.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入する。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立富士高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「教養、調和、挑戦」を目標とし、自主自律、文武両道の精神の下、6年間一貫通貫した探究活動を中心とした教育活動を通じて理数的課題発見力・解決力を育成するとともに、新しい価値観と既存の価値観を調和させ、社会の課題を解決するために自己の限界に挑戦できる人間を育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

- (1) 様々な文化・芸術・自然に触れる体験的な学習を通して瑞々しい感性を高める。
- (2) 音楽を愛好する心情を育てるとともに、豊かな感性、自己表現力を養う。
- (3) 幅広い音楽活動を通して、基礎的な表現力・鑑賞能力を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	中野地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽を愛好する心情を育てるために、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽を愛好する心情を育てるために、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

発行者 項目	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	13	22	11	4	6	66	48
教芸	11	14	16	9	7	6	63	25
平均値	10.5	13.5	19.0	10.0	5.5	6.0	64.5	36.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入する。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立大泉高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「自主・自律・創造」を教育目標に、6年間の系統性とゆとりある中高一貫教育の中で、物事の真理を深く考え、筋道を立てて明らかにする探究活動等を通して、夢の発見と実現に向けたきめ細かな教育の実践により、国際社会で活躍する多様な人間力を育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

- (1) 我が国の歴史・文化・社会への理解を深める。
- (2) 他国の異なる文化を理解し、尊重する態度を育てる。
- (3) 音楽の基礎的な能力を伸ばすとともに、豊かな情操を養い、音楽を生涯にわたり愛好する気持ちを育てる。
- (4) 生徒の発達段階に応じた表現活動を通して、音や音楽への関心を高め、表現する喜びを感得する。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	練馬地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、我が国の文化に触れる機会を多く取り入れるため、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、我が国の文化に触れる機会を多く取り入れるため、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	13	22	11	4	6	66	48
教芸	11	14	16	9	7	6	63	25
平均値	10.5	13.5	19.0	10.0	5.5	6.0	64.5	36.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入する。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立南多摩中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

心・知・体のバランスのとれた生徒を育てるため教養教育を推進し、学力・突破力・協働力・探究力の育成を図り人間力を育む。フィールドワーク等特色ある教育活動により、6年間を通して“確かな学力”を身に付けさせる。新たな価値を創造し、主体性をもって国際社会の様々な分野で活躍できるリーダーを育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

- (1) 音楽活動の体験を通して、音や音楽への興味・関心を養い、基礎・基本を定着させると同時に、創造的に表現する能力を身に付けさせる。
- (2) 多摩地域の伝統音楽から世界の作品まで多様な音楽に触れ、幅広く鑑賞する態度・能力を育てる。
- (3) 生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな表現能力と主体的な鑑賞能力を伸ばす。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	八王子地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 令和5年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるため、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるため、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

発行者 項目	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	13	22	11	4	6	66	48
教芸	11	14	16	9	7	6	63	25
平均値	10.5	13.5	19.0	10.0	5.5	6.0	64.5	36.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入する。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	教出、教芸

2 都立三鷹中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

思いやりの心を持った社会的なリーダーの育成を目標に、互いの基本的人権を尊重し、豊かな人間性と高い見識、幅広い視野を培い、自立と共生の精神を養う。6年間の体系的な教育課程、発達段階に応じた体験的な学習、異年齢集団による特別活動や地域連携、国際理解教育といった教育活動を通じて、世界にはばたく社会的リーダーを育成する。

【音楽（器楽合奏）における学習指導の展開】

- (1) 幅広い音楽活動を通して基礎的な表現力や鑑賞力などの音楽能力を伸ばす。
- (2) 日本及び世界の様々な音楽文化を尊重し、理解を深め、愛好する心情を育てる。
- (3) 創造的な自己表現力を高めるとともに、音楽活動を通して、コミュニケーション能力を養う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 和楽器を扱っているページ数	三鷹地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	ページ
b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽文化を尊重し、理解を深め、愛好する心情を育てるために、和楽器を扱っているページ数を調査する。
- b 日本の伝統や文化に対する理解を深め、音楽文化を尊重し、理解を深め、愛好する心情を育てるために、我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を調査する。

発行者 項目	a 和楽器を扱っているページ数							b 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数
	和太鼓	三味線	箏	篠笛	尺八	その他	計	
教出	10	13	22	11	4	6	66	48
教芸	11	14	16	9	7	6	63	25
平均値	10.5	13.5	19.0	10.0	5.5	6.0	64.5	36.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入する。

a 「和楽器を扱っているページ数」については、和太鼓、三味線、箏、篠笛、尺八など、和楽器を扱っているページ数を数えている。

b 「我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数」については、箏の楽譜など我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数を数えている。